

普及期にきたクラウド。 安心して企業に導入するためのポイント

2015年11月4日

アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社

代表取締役社長

長崎 忠雄

Welcome!

ITが変わる。仕事が変わる。

AWS Cloud Roadshow 2015

powered by



Thank You!



フィードバックをお寄せ下さい

本イベントについてツイートされる際は、
ハッシュタグをご利用ください。

#AWSRoadshow

お帰りになる前には、アンケートへのご協力をお願いします。
引換用の記念品をご用意しています。



速報 > 地域ニュース > 九州・沖縄 > 記事

アマゾン系が9月めど福岡支社 クラウド使い事業支援

2015/7/15 10:28

小 中 大 保存 印刷 リプリント 共有

米アマゾンの関連会社でクラウドサービスを手掛けるアマゾンデータサービスジャパン(東京・目黒)は今年9月をめどに福岡市に支社を開設する。同サービスを使ったビジネス支援を拡充する。同社の拠点は東京、大阪に続いて3カ所目。14日、福岡市が発表した。

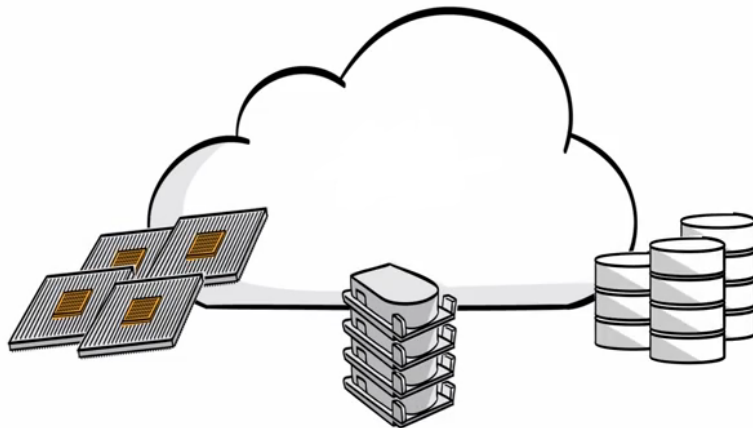
クラウドサービスは顧客がネット経由でソフトウェアやデータベースなどを利用できる。同社は主に企業向けに米アマゾンによるクラウドサービス「アマゾンウェブサービス(AWS)」の導入支援を展開している。現在でも福岡の企業は同サービスを利用できるが、導入にあたっての技術情報提供などが不十分だったという。

福岡市が進める創業支援などにより「起業の事例が増えており、クラウドサービス需要の成長も期待できる」(アマゾンデータサービスジャパン)とみて、支社開設を決めた。雇用者数などは未定。

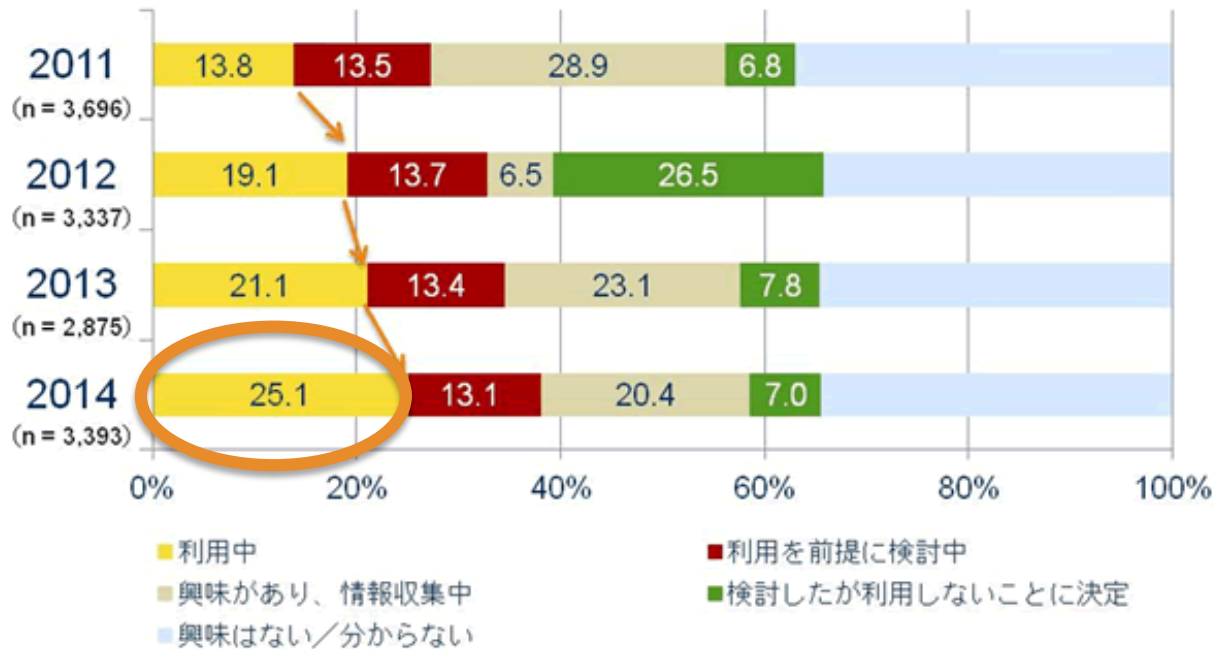
2015年10月

福岡に 拠点設立

クラウドとは IT利用の新しいカタチ



普及期にきたクラウド利用



国内における
パブリッククラウド
の利用・検討状況

約25%の企業が
「利用中」

Source: IDC Japan 7/2014

<http://www.idcjapan.co.jp/Press/Current/20140724Apr.html>

アマゾンのミッション

地球上でもっともお客様を大切に
する企業であること

地球上で求められるあらゆる
ものを探し、発見でき、購入
できる場を作る事

お客様からスタートし、常に
お客様の立場で考えること

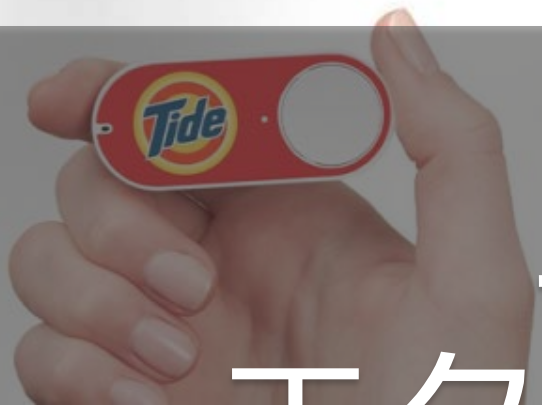


スケール





スピード



amazon dash
BUTTON

ユーザー エクスペリエンス





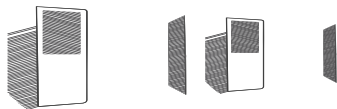
アマゾンがクラウドをはじめた理由

AWSクラウドの起源は、
アマゾン社内の
ビジネス課題を解決するために
生まれた

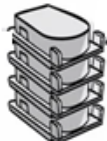


既存のインフラをサービス化して対応

データセンター



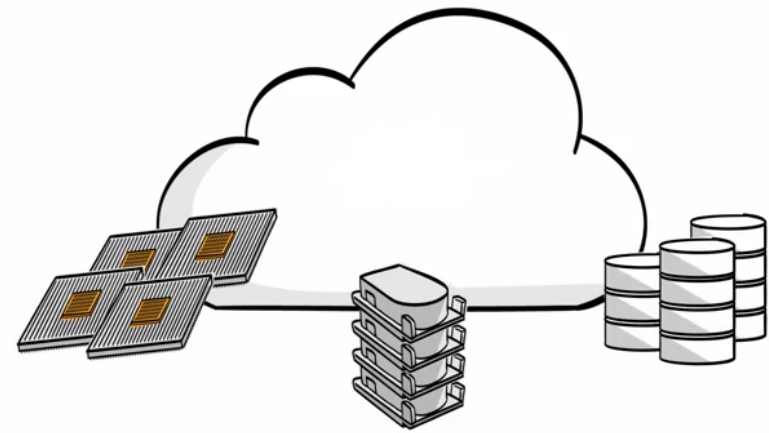
サーバー



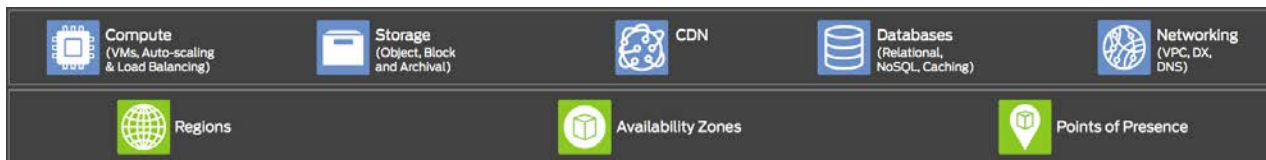
ストレージ機器



テープ装置



インフラのコア部分をクラウドサービス化



コア サービス

インフラストラクチャー

フルマネージド型クラウドサービスを次々と追加

The screenshot displays the AWS Management Console dashboard, organized into several horizontal sections. On the left is a vertical navigation sidebar with categories: Technical & Business Support, Support, Professional Services, Partner Ecosystem, Training & Certification, Solutions Architects, Account Management, and Security & Pricing Reports. The main content area is divided into rows of service tiles. The top row includes Big Data & HPC, Business Apps, Security, Development, Backup, Databases, and Industry Solutions. The second row features Virtual Desktops, Sharing & Collaboration, and Corporate Email. The third row is a grid of four categories: Analytics (Hadoop, Real-time Streaming Data, Data Warehouse, Data Pipelines), App Services (Queuing & Notifications, Workflow, App Streaming, Transcoding, Email, Search), Developer Tools & Operations (One-Click web app deployment, DevOps Resource Management, Application Lifecycle Management, Resource Templates, Container Management, Event-driven Computing), and Mobile Services (Identity, Sync, Mobile Analytics, Push Notifications). The fourth row contains Identity Management, Resource & Usage Auditing, Access Control, Key Management & Storage, and Monitoring & Logs. The fifth row shows Compute (VMs, Auto-scaling & Load Balancing), Storage (Object, Block and Archival), CDN, Databases (Relational, NoSQL, Caching), and Networking (VPC, DX, DNS). The final row includes Regions, Availability Zones, and Points of Presence.

エンタープライズ
アプリケーション

プラットフォーム
サービス

セキュリティ&管理・運用

コア サービス

インフラストラクチャー

数々の「クラウドネイティブ」サービス

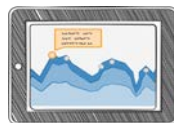
仮想デスクトップ環境



モバイル向けサービス



Amazon
Cognito



Amazon
Mobile Analytics



Amazon
Mobile SDK



Amazon SNS
プッシュ通知

ビッグデータ + リアルタイム



Amazon Elastic
MapReduce



Amazon Redshift

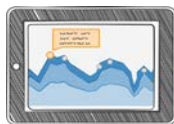


Amazon
Kinesis

モバイル向けサービスの充実



Amazon
Cognito



Amazon
Mobile Analytics



Amazon
Mobile SDK



Amazon SNS
プッシュ通知

- モバイルアプリ開発に必要なバックエンドサービス (MBaaS)を提供
- 認証やマルチデバイス間での状態同期、ログ解析、大量のメッセージ配信機能等を、マネージドサービスで提供し、**構築／運用コストを大幅に低減**
- **期間限定のイベント**や**特定時期のみ急速にアクセスが増えるアプリ**なども、インフラの心配をすることがない環境を容易に準備可能
- **Redshiftへのデータエクスポート機能**をサポートし、独自の詳細な分析を実施する事も可能に

サーバを限りなく減らしコストを削減

世界中にクラウドサービス拠点を展開

11 のリージョン

1. US EAST (Virginia)
2. US WEST (N. California)
3. US WEST 2 (Oregon)
4. EU WEST (Ireland)
5. JAPAN (Tokyo)
6. South America (Sao Paulo)
7. ASP 1 (Singapore)
8. ASP 2 (Sydney)
9. GovCloud
10. BJS 1 (Beijing China) limited preview
11. EU (Frankfurt)



30 のアベイラビリティ・ゾーン

53 のエッジロケーション

Figure 1. Magic Quadrant for Cloud Infrastructure as a Service, Worldwide



Source: Gartner (May 2015)

Gartner Magic Quadrant Cloud Infrastructure as a Service

AWSクラウドを軸に新たなエコシステムが創造

BYOL (ライセンス持込)



クラウドサービス提供



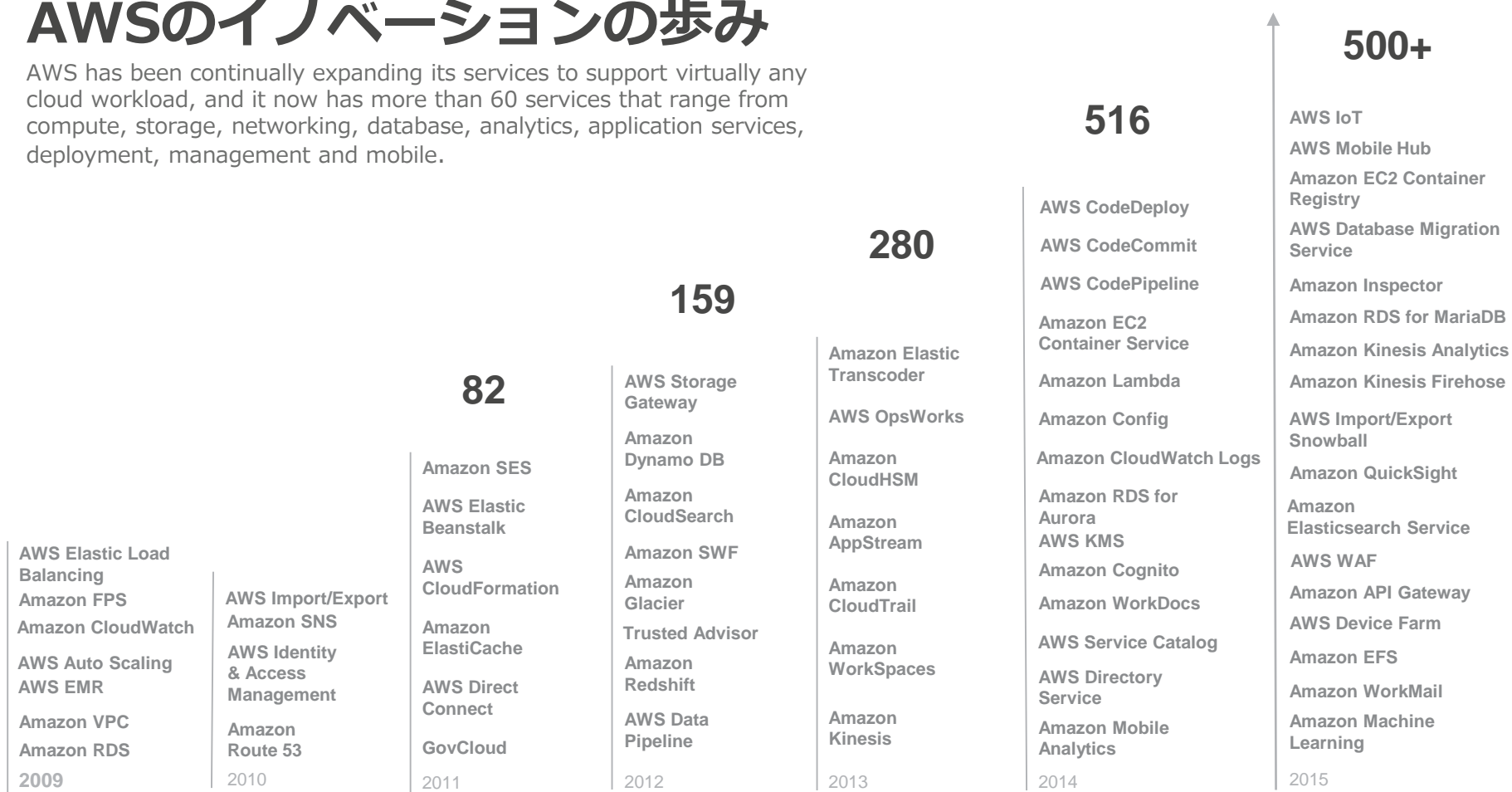
アプライアンス、
ネットワークベンダーの
クラウド対応



システムインテグレーション

AWSのイノベーションの歩み

AWS has been continually expanding its services to support virtually any cloud workload, and it now has more than 60 services that range from compute, storage, networking, database, analytics, application services, deployment, management and mobile.

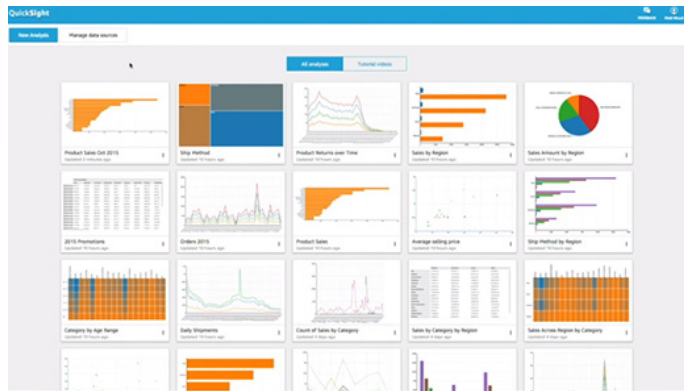


* As of 8 Oct 15

A photograph of a large conference hall during the AWS re:Invent 2015 event. The room is filled with people seated in rows of chairs, facing a stage. The stage features large projection screens displaying content, and the overall lighting is dim with red and blue accents. The text is overlaid on a semi-transparent dark grey band across the center of the image.

2015.10.7 - 10.9
AWS グローバルカンファレンス
re:Invent 2015
参加者：19,000名

IoTやデータマイグレーション、活用に更なる進化

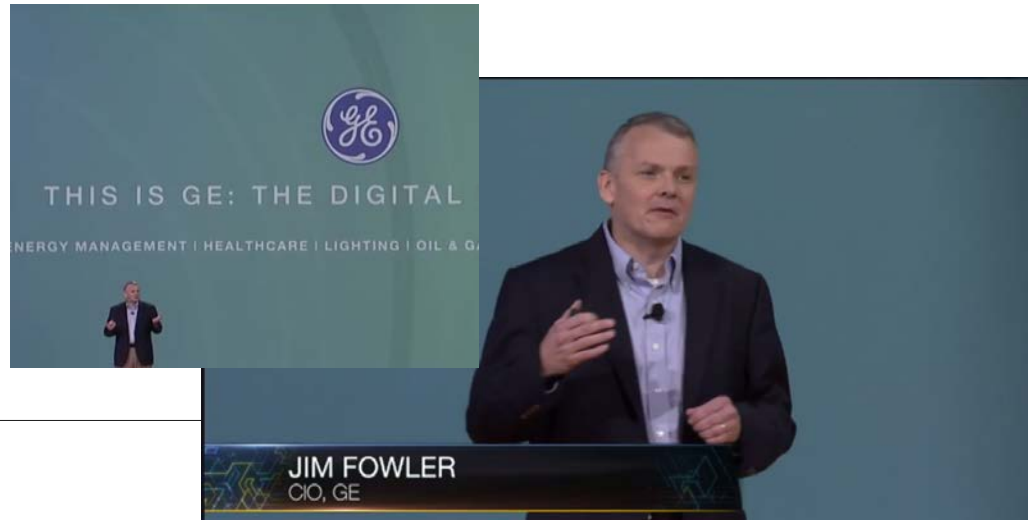


拡がり続けるクラウドの利用用途



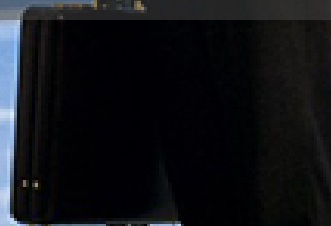
MLB: ビッグデータを使って、試合中のプレイをよりビジュアライズして放送

GE: 今後3年間で、社内の9,000ものワークロードをAWSにマイグレーション予定





クラウドに一步踏み出せない
方々の声

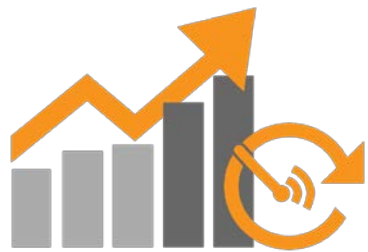


お客様からよく聞く「踏み出せない」理由

- 利用メリットがわかりにくい
- 情報セキュリティが不安
- クラウドへの移行コストが心配

その1:判断できない

ユーザにとってクラウドは合理的な選択



カイゼンアプローチ:

今まで**できていたこと**を、
より早く、簡単に、安く実現できる



イノベーションアプローチ:

今まで**できなかったこと**を実現できる

日本でも数万を超えるお客様にご利用



クラウドへの“全面移行”企業が加速



東急ハンズ：利点を最大限に活用すべく、無条件にパブリッククラウドを適用する

ファーストリテイリング：基本的に全てのシステムをクラウドファースト、クラウドネイティブで検討する

丸紅：アプライアンス製品などクラウドを利用できないシステム以外は、基本的にパブリッククラウドを使う

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/atcl/ncd/15/100600039/>

ITインフラのプライマリー、 セカンダリーが逆転へ

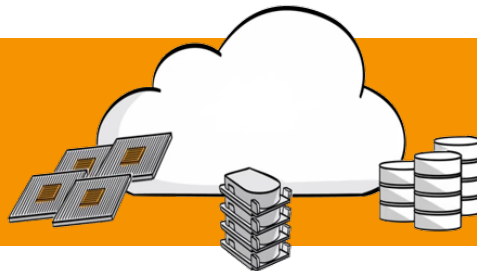
現在

クラウド

オンプレミス



将来




九州地区企業でも の利用が拡大中



本日のセッションでお確かめ下さい



 日本情報クリエイト株式会社



 Goody
グッディ



 SANIX



 九州大学
KYUSHU UNIVERSITY



 本物だけをまっすぐあなたへ
やずや
YAZUYAグループ



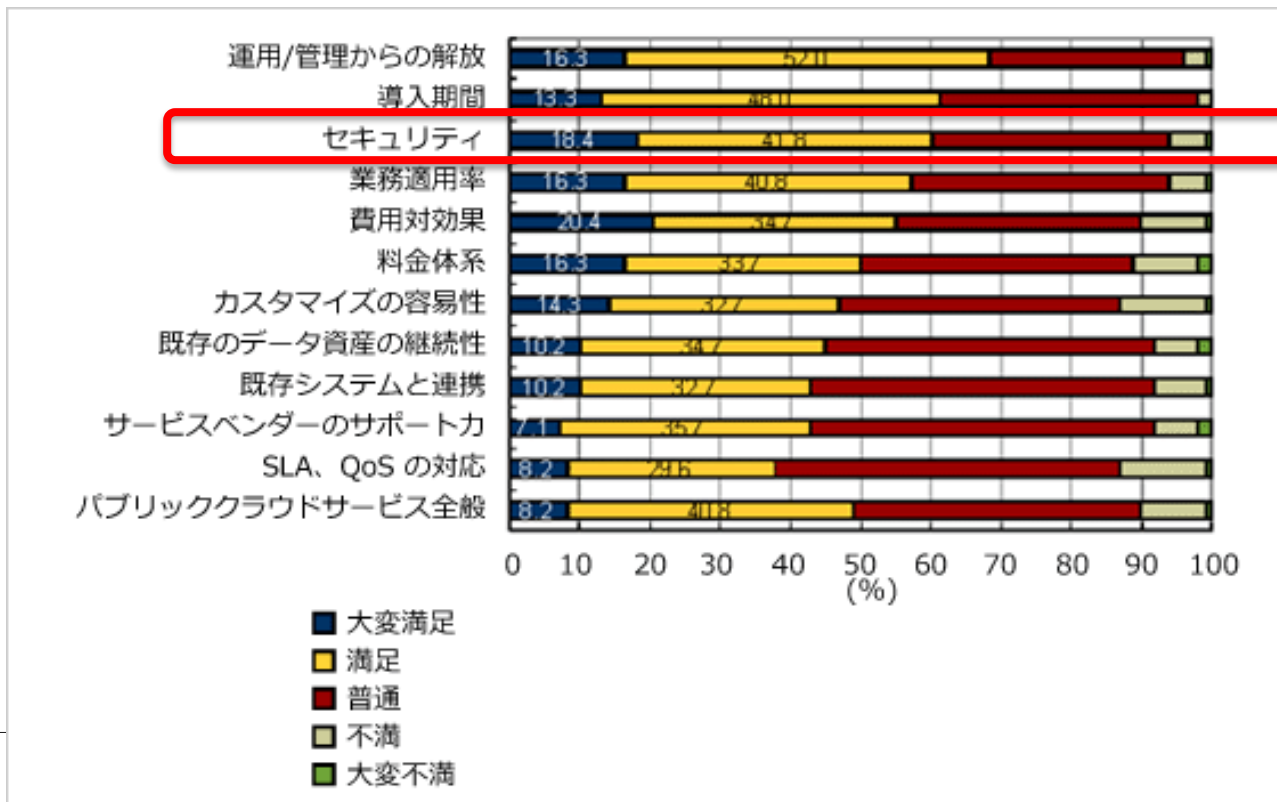
 Mitsui
High-tec
Inc.

その2 : セキュリティが不安？

データは、お客様が管理します。

=置く場所やデータ移行はお客様が決定

事実：導入企業の多くが「クラウド化した後の、情報セキュリティレベルを評価」と回答

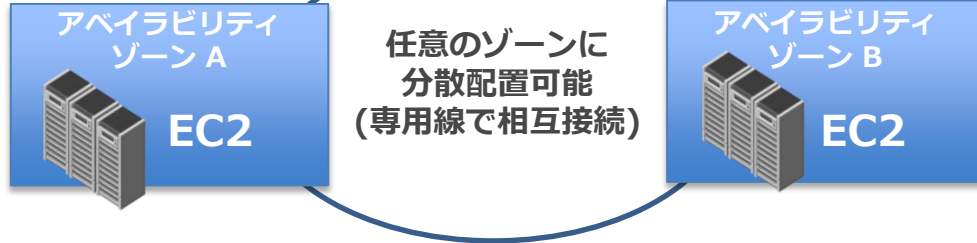


出典：IDC Japan :
国内クラウドサービス
市場ユーザー動向調査結果

リージョンにおける可用性

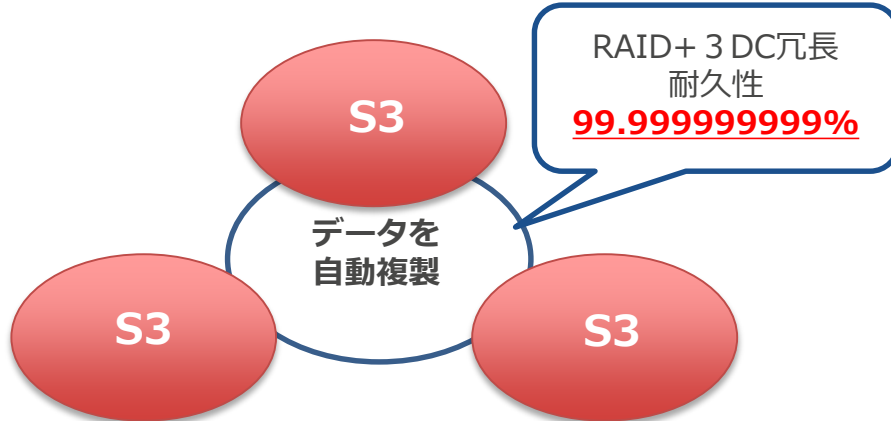
リージョン

ひとつのリージョンの中だけで可用性を保つ為の仕組みをご提供(自由に選択可能)



EC2ベースのサービス

- Amazon EBS
- Amazon RDS
- Amazon Elastic MapReduce
- AWS Elastic Beanstalk
- ... etc



S3同様の冗長化構成をとるサービス

- Amazon Glacier
- Amazon SQS
- Amazon SNS
- Amazon Dynamo DB
- ... etc

アベイラビリティゾーンにおけるAWSのポリシー

- 物理的に隔離
- 洪水面を考慮
- 地盤が安定している場所
- 無停止電源(UPS)、バックアップ電源、異なる電源供給元
- 冗長化されたTier-1ネットワーク

AWSクラウドにすることで得られるもの

データセンターの冗長化：

ネットワーク、電源等が冗長化されたデータセンターを複数利用可能



重大な脆弱性への早期対応：

サーバーの再起動だけで最新環境に堅牢なセキュリティ設定、暗号化、多要素認証



数多くの第三者認証：

セキュリティ・コンプライアンスに関する、多くの第三者認証を取得済み



FISMA



AWSクラウドにすることで得られるもの

今までと変わらない + それ以上を実現

セキュリティ 専門チーム と整備されたドキュメント

100万以上のお客様からの声：

無数のセキュリティ機能を用意

日々、セキュリティの機能拡張

自社でやるより安心かつ強固なセキュリティという声

セキュリティ関連の公開ドキュメントも充実 (日本語)

- AWS リスクとコンプライアンス
- AWS セキュリティプロセスの概要
- DDoSに対するAWSのベストプラクティス 他

DDoS に対する AWS の

ベストプラクティス

2015 年 6 月



Amazon Web Services : セキュリティプロセスの概要

2011 年 5 月

(本書の最新版については、<http://aws.amazon.com/security> をご覧ください。)

アマゾン ウェブ サービス: リスクとコンプライアンス

2015 年 4 月



アマゾン ウェブ サービス: リスクおよびコンプライアンス

2015 年 4 月

(本書の最新版については、<http://aws.amazon.com/compliance/aws-whitepapers/> を参照してください)

ページ 1 - 133



NTTドコモがAWS導入経験を外部向けのセキュリティ調査支援サービスに

News & Trend

日経コンピュータ

なぜドコモがAWSを“担ぐ”のか？「ドコモ・クラウドパッケージ」の真の狙い

2015/02/20
八木 玲子=日経コンピュータ（筆者執筆記事一覧）

[記事一覧へ >>](#)

83 1 11 25 20

[おすすめ](#) [共有](#) [ブックマーク](#) [Pocket](#) [ツイート](#)

[シェア](#)

NTTドコモが、AWS（アマゾン・ウェブ・サービス）の国内での活用を促進する。同社は2015年2月19日に、AWSの活用ノウハウをパッケージ化した「ドコモ・クラウドパッケージ」の提供を開始した（関連記事：[NTTドコモ、AWSなどのクラウド活用ノウハウをパッケージ化して提供](#)）。なぜ、NTTドコモがAWSを“担ぐ”のか。意外に思う読者も少なくないだろう。

実はNTTドコモは、AWSの大規模なユーザーである。代表例が、エージェントサービス「しゃべってコンシェル」（関連記事：[クラウド利用する「しゃべってコンシェル」](#)）、ドコモの栄藤執行役員が構築背景を解説）。アクセス数に応じてコンピューターリソースを

「ドコモ・クラウドパッケージ」を利用しなかった場合

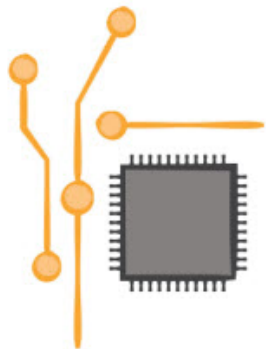


「ドコモ・クラウドパッケージ」を利用した場合



その3：移行コストが大変？

社内PCサーバと同じ、インテルアーキテクチャー採用



マイグレーションが容易 : Amazon EC2は、インテル製CPUで稼働しており、お手元のPCサーバの環境をマイグレートするのに適したアーキテクチャーを提供

CPUの陳腐化からの開放 : 常に最新のCPUを選択できるので、ハードウェア購入の時のようにCPUの陳腐化に

コスト効率の良さ : ほぼ毎年利用料金が値下げとなるので、同じスペックであれば年々コストダウン、同じコストならスペックアップした環境が利用可能





Introducing X1

インテル – AWSの協業が更に加速

Intel Xeon E7 v3プロセッサ × 4

+ 2TBメモリ搭載の新インスタンス:

Amazon EC2 X1インスタンスを発表

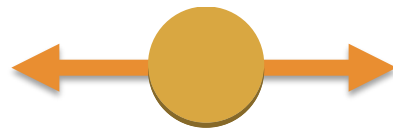
企業ITでのAWS利用を容易にする“3つの特長”

仮想プライベートクラウド



Amazon VPC

閉域網（専用線）接続
サービス



Amazon Direct Connect

商用ライセンスのAWS稼働実績



“すぐに”試せる 1年間の無料利用枠

メニュー



AWS Cloud Roadshow

製品・サービス 詳細

日本語 アカウント

サインアップ

AWS について

[AWS 無料利用枠 | AWS クラウドサービスを無料で試用](#) >

[AWS 無料利用枠提供規約](#) >
[よくある質問](#) >

関連リンク

[クラウドの強みとメリット](#)

[AWS のご利用開始方法](#)

[AWS 製品 & サービス](#)

[AWS でウェブサイトを実行する](#)

[クラウド推奨構成とお見積り例](#)

AWS クラウド 無料利用枠

Amazon の AWS 無料利用枠では、[サインアップ](#)してから 12 か月間、AWS クラウドサービスを無料で実際にお使いいただけます。

AWS アカウントを作成すると、次に示す 25 の製品およびサービスをいずれも使用制限の範囲内で無料でご利用いただくことができます。

アマゾン ウェブ サービス (AWS) 無料利用枠では、AWS クラウドサービスを無料で実際にお使いいただけます。AWS 無料利用枠には、AWS に[サインアップ](#)した日から 12 か月間お使いいただける無料利用枠の付いたサービスと、12 か月間の無料利用期間終了後にも自動的に期限切れにならない追加サービスが提供されています。

AWS を無料でお試しください。お支払いは実際に使用した分だけです。

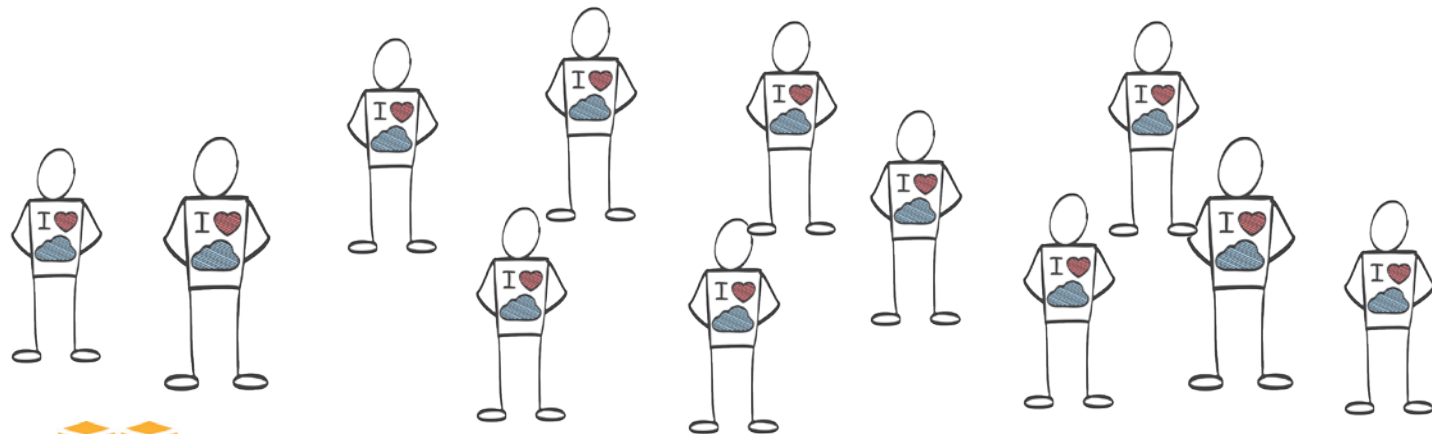
[まずは無料で始める >](#)

AWS アカウント作成にはご利用可能なクレジットカードのご登録が必要となりますが、無料範囲内のご利用で課金されることはありません。詳細は[提供規約](#)をご覧ください。

[AWS アカウント作成の流れはこちら >](#)

<https://aws.amazon.com/jp/free/>

AWS技術チーム+AWSパートナー お客様のクラウド導入・移行をお手伝い



Partner
Network

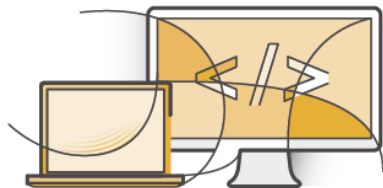
ソリューション・アーキテクト
プロフェッショナル・サービス (コンサルティング)

トレーニング、ユーザコミュニティで ラーニング環境も充実



公式トレーニング

ユーザーコミュニティ



セルフペースラボ

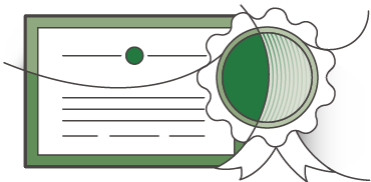


JAWS-UG =



Enterprise
JAWS-UG
AWS User Group - Japan

Japan AWS User Group
全国50拠点以上で活動中



認定試験

技術者のレベルに合わせたトレーニングコース設定



AWSトレーニングロードマップ



アーキテクチャー
(設計)



開発

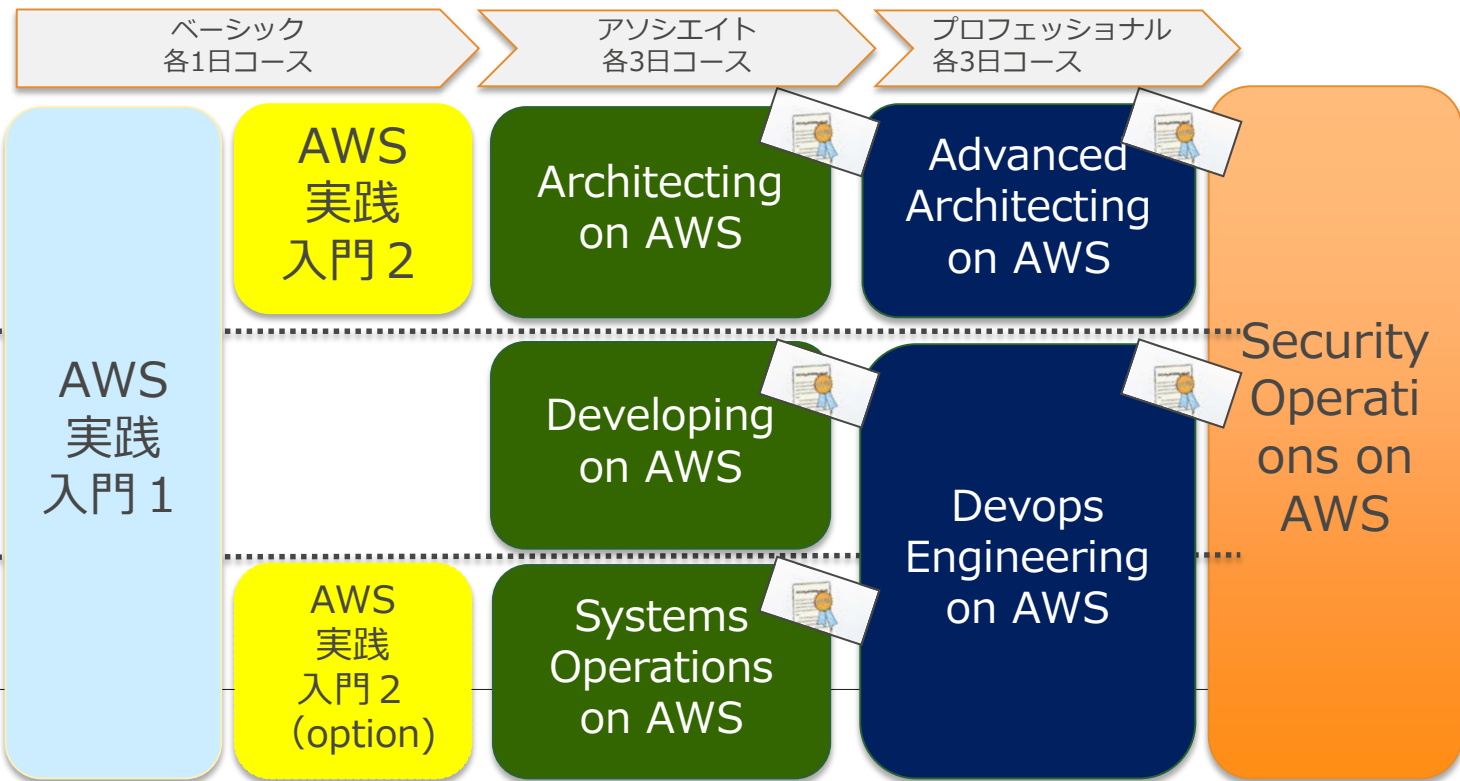


運用

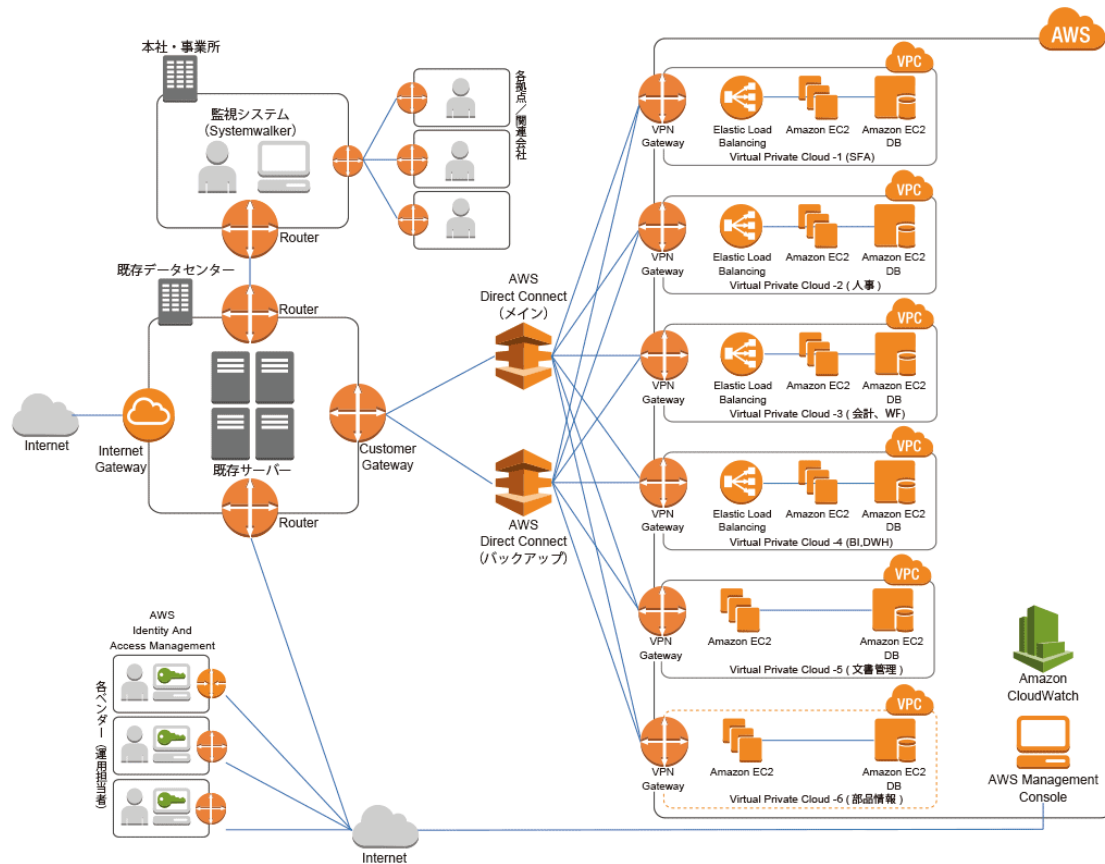
1人当たり受講料金/1日 : 600ドル (税別)



認定資格



エンタープライズ企業での典型的な導入パターン



MISAWA

- Amazon EC2
- Amazon S3
- Amazon VPC
- Amazon Direct Connect
- Elastic Load Balancing

- Amazon CloudWatch

Biz会計

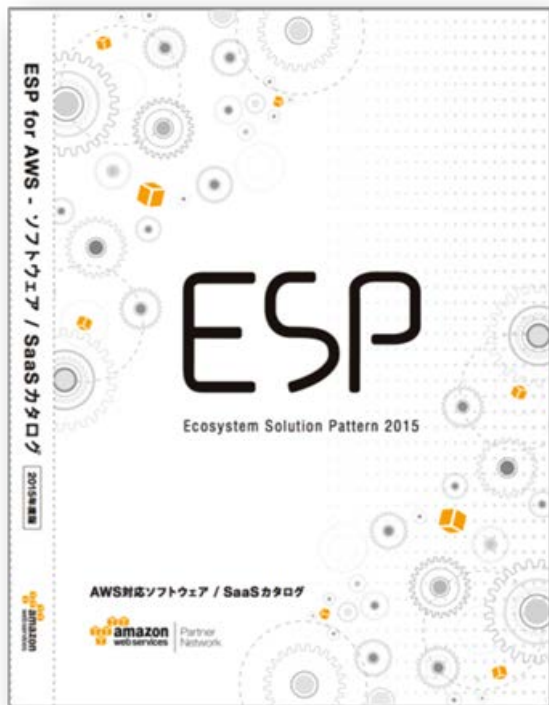
eセールスマネージャー

intra-mart®

戦略的情報活用・分析ツール
DaTaStudio@WEB

大企業向けERPパッケージソフト
COMPANY

AWS対応のパッケージ、サービス一覧



ビジネスアプリケーション



アナリティクス



セキュリティ



データ連携



ネットワーク/ストレージ



開発/運用



ERPも on AWSで運用改善

MISAWA

ケンコーコム
kenko.com

通 日本通運
NIPPON EXPRESS

NOEVIR HOLDINGS

UMC

TIETECH

広島大学

KYOWA KIRIN

HOYA

三井物産株式会社

MKI

Anritsu
Discover What's Possible™

入船鋼材

Kellogg's

iDEA Consulting Inc.

スシロー

Combi

CRESCO

SAP

WORKS
APPLICATIONS

ORACLE

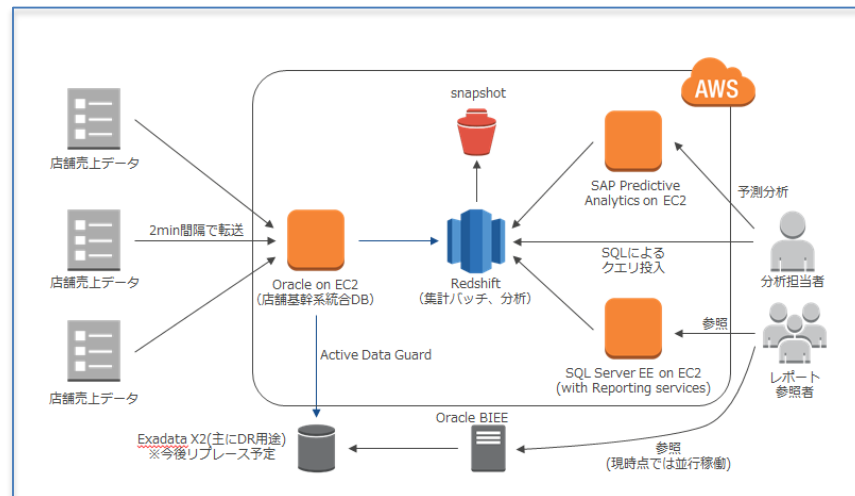
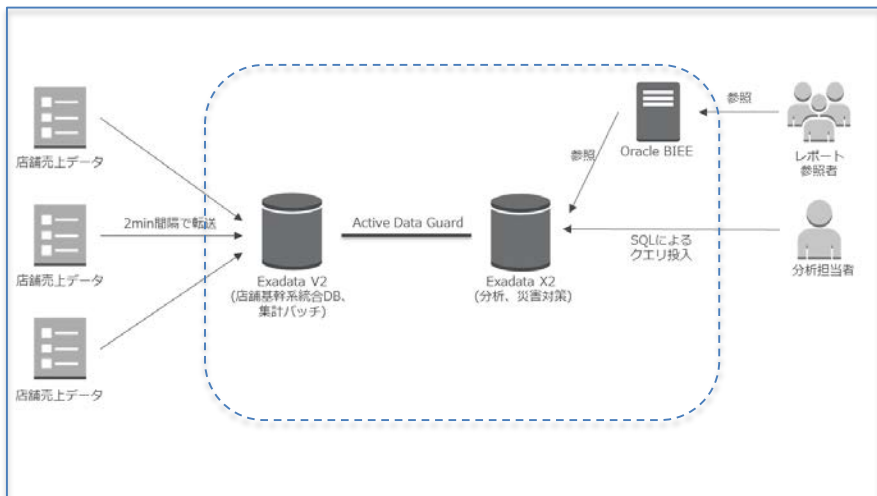
infor

powered by
amazon
web services

Oracle Exadata からAWSに移行



GEO HOLDINGS CORPORATION



- 専用機を使った実装
- 構成変更にも都度時間とコストがかかる
- 集計・分析処理に7～8時間

- Amazon EC2、Redshift等で構成
- オンデマンドですぐに構成変更可能
- 同じ作業を数分で実行 (待ち時間解消)

運用コスト（TCO）も大幅に削減



開発検証環境でAWSを利用、
5年間のトータルコスト試算
90%削減



コスト構造分析の結果、
オンプレミスの硬直化・固定化
したコストを削減可能と判断



コストに関しても、トータルで、
年間10-20%の削減を試
算できており、さらに**リプ
レース費用も今後は削減**
できます。

ITコスト構造の分析

ドキュメント管理システム更改案件における5年間のコスト比較結果を元に、コスト構造の分析を実施。
 固定的ITコスト（インフラSE費用、サーバ機器費用、データセンタ費用）は計画通り削減になる見通し。



【参考資料】 ソニー銀行様
 でのコスト構造分析例

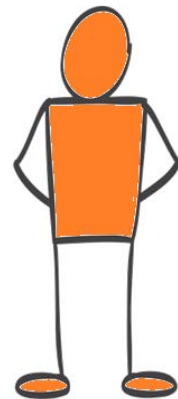
これまでの固定的な
ITインフラコストを
大幅に削減する事が可能

「失敗のコスト」も大幅に削減

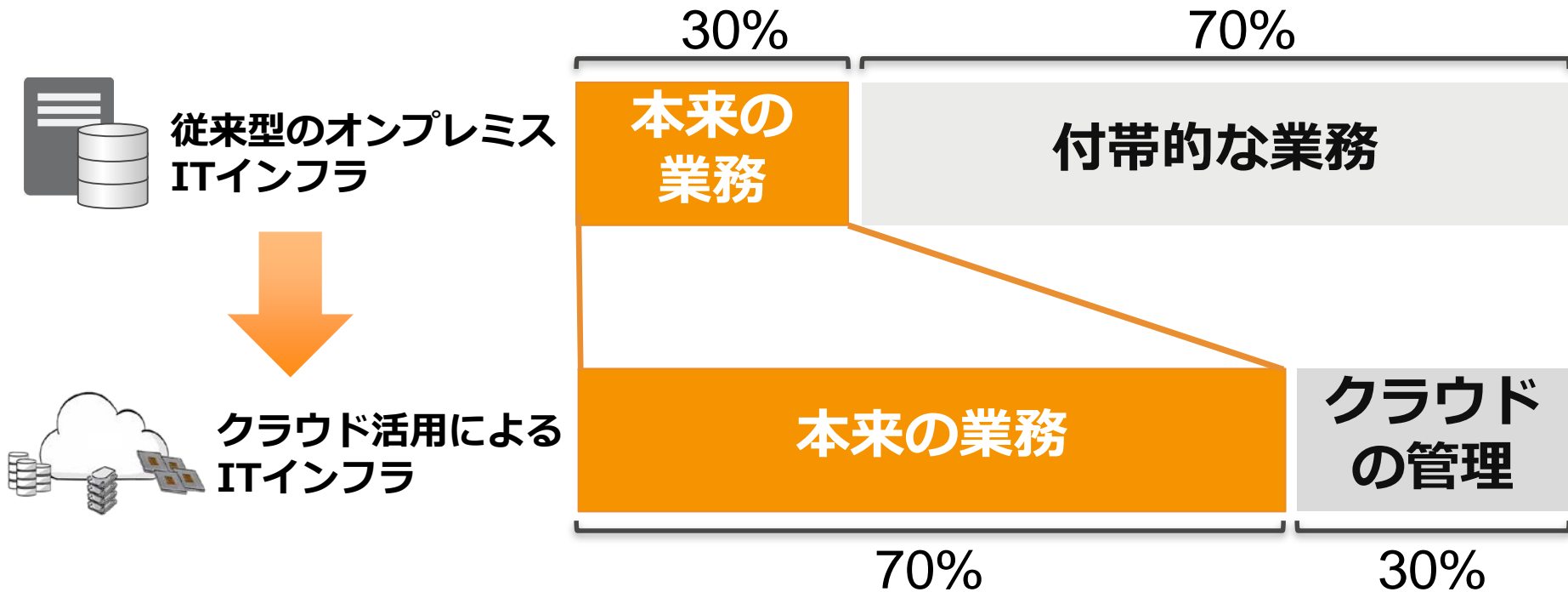
クラウドを活用することで…

- 初期費用が不要
- ITリソースの調達、変更にかからない
- 「試してみる」ことが簡単になる

⇒ 「失敗のコスト」が下がり、ビジネスが加速



クラウドにより運用負荷が低減 ⇒本来の業務に集中



企業でクラウド導入を考える時のポイント

- ❏ クラウドは技術の変化ではなく、**ビジネスの変化**
- ❏ クラウドによって、「**できない**」が「**できる**」に
- ❏ クラウドが、本来のビジネス、目的に**ヒト、モノ、カネ**を集中できる



ビジネスのカイゼン、イノベーションに
クラウドのチカラを！